

科目名称：	日本事情IV	
担当者名：	王 玉	
区分	授業形態	単位数
留学生別科に関する科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>初めて来日する留学生にとって、言葉はもちろんのこと、その他日本の文化背景や国民の考え方、生活習慣、風土人情などいわゆる異文化に対して、どのように理解するかは、日本での留学生活が円滑に行うことができるかにかかわる最も重要なことだと考えられる。また、学園生活を含む普段の生活上のマナーや、いざというときの対応方法なども事前に知る必要がある。したがって、本授業は日本事情（時事）および注意事項を紹介するとともに、これらに関して日本語の正しい使い方をマスターしてもらうことを目的とする。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>日本で日常のマナー理解と遵守すること達成目標とする。具体的な到達目標は、日常よく使われる挨拶語・その応答が基本的にできるすること、また、簡単な新聞記事や通達文章など、読解できることである。</p>		

留学生別科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)			80	20	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）
なし	

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間 (分)
第1回 実りの秋と祭り 準備学習時間：60分	石川県の祭り3・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第2回 日本の食文化/ 緊急対策についてⅡ 準備学習時間：60分	秋の食・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第3回 建前・本音など 準備学習時間：60分	時事読解・スポーツ・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第4回 日本人のライフスタイル(3) 準備学習時間：60分	レジャー・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第5回 伝統行事(2) / 「日本の心」(3) 準備学習時間：60分	文化的なのイベントなど・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第6回 神と祭りと日本人Ⅱ 準備学習時間：60分	動物・時事読解・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第7回 日本の主な観光地とその歴史文化(2) 準備学習時間：60分	日本の世界遺産について・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第8回 日本社会のシステムⅡ 準備学習時間：60分	日本の自治体・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第9回 グループワーク：留学生からみた北陸・金沢 準備学習時間：60分	北陸地域・金沢・歴史文化について	60分
第10回 マナーとタブー(2) (ホームステイに向けて) 準備学習時間：60分	ホームステイのマナーについて・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第11回 日本の主な観光地とその歴史文化(3) 準備学習時間：60分	日本の都会と農村・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第12回 伝統行事(3) / 「日本の心」(4) 準備学習時間：60分	正月・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第13回 日本人のライフスタイル(4) 準備学習時間：60分	日本の学校事情1・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第14回 昔話・伝説と動物について 準備学習時間：60分	日本の童話・読解1(同上)読解2(同上)	60分
第15回 グループワークで来日してきた見聞を日本語でまとめる。・レポート 準備学習時間：60分	総合まとめ・練習	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。  
授業への貢献・積極的関与(20%)・課題レポート(80%)を合せて総合評価します。

#### 課題に対するフィードバック

回収した課題を点検・添削し、次回の授業で個人に返却し、共通した問題点を説明したり、全体の分析をしたりして理解を深めさせる。

#### 教科書・参考書

毎回プリントを配布する。  
準備学習時間：60分